

「主な取組」検証票

施策展開	5-(6)-イ	地域づくりを担う人材の育成	施策	① 地域づくりに取り組む人材の育成
			施策の小項目名	—
主な取組	沖縄らしい風景づくり促進事業(地域景観の形成を図る人材の育成)			
対応する主な課題	②地域の持続的な活性化に向けては、地域の良さを再認識し、地域の様々な魅力ある資源を具体的な事業に結びつけ、地域活動の広がりをとおして、地域の活性化を主導できる人材が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
良好な景観創出のための仕組みづくりを目的として、風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等を育成する。		H29	H30	R元	R2	R3
		300人 講習修了数				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	工不建築部都市計画・モブレル課		【098-866-2408】			
		景観形成人材育成(地域人材、地域を支援・景観を形成する専門家の育成)				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		H29年度					H30年度					R元年度					R2年度					R3年度				
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画																	
							当初予算額	主な財源	OR3年度： 人材育成業務は、活動内容を地域住民の話し合いで決定し、集団で制作・美化活動を行うことから、新型コロナウイルス感染リスクが高く、中止とし OR4年度： 人材育成計画に基づき、県内6地区の風景づくりサポーター・地域景観リーダー及び県内市町村の景観行政コーディネーター育成の講習会等を開催する。																	
一括交付金(ソフト)	委託	23,141	14,664	4,520	38,332	10,241	66,500	一括交付金(ソフト)																		
予算事業名																										
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画																	
							当初予算額	主な財源	OR3年度： — OR4年度： —																	
		—	—	—	—	—	—	—																		

活動指標名	講習修了数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要 人材育成業務は、活動内容を地域住民の話し合いで決定し、集団で制作・美化活動を行うことから、新型コロナウイルス感染リスクが高く、中止とした。
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	457人	718人	地元調整	442人	0人	300人	0.0%			
活動指標名	—				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 平成29年度より人材育成の取組を継続的に実施しており、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により取組を実施できなかったものの、5年間の累計目標値は計画値1,500人に対して実績値1,617人と達成できた。 風景づくりに係る人材育成が実施されることにより、良好な景観形成に必要な人材が育成され、沖縄らしい風景づくりに寄与する。
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—	—			
活動指標名	—				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 平成29年度より人材育成の取組を継続的に実施しており、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により取組を実施できなかったものの、5年間の累計目標値は計画値1,500人に対して実績値1,617人と達成できた。 風景づくりに係る人材育成が実施されることにより、良好な景観形成に必要な人材が育成され、沖縄らしい風景づくりに寄与する。
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—	—			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案					反映状況					
・地域住民の景観への関心を高めるため、地元市町村及び実施地区と連携を図りながら各地区で景観形成に向けた活動やワークショップ等を開催し、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく。					・令和3年度は新型コロナウイルスの影響により取組を実施できなかった。					

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・地域人材育成の円滑な実施にあたっては、地元市町村及び実施地区との連携が必要不可欠である。

○外部環境の変化

・風景・まちなみづくりに対する地域住民の関心を高めるには、長期的な視点から継続的な取組が求められる。

・風景づくりに係る人材育成後、育成された人材が活動を実施できる体制が整備されていない。

・令和3年度は新型コロナウイルスの影響により取組を実施できなかった。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・地元市町村及び実施地区と連携の上、地域住民の景観への関心を高めるために長期的な視点から継続した取組が必要である。

・コロナ禍における人材育成の取組方法について検討が必要である。

4 取組の改善案 (Action)

・地域住民の景観への関心を高めるため、地元市町村及び実施地区と連携を図りながら、各地区でコロナ禍でも取組可能な景観形成に向けた活動やワークショップ等を開催し、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく。